視覚検査

事前に自宅で検査を実施してください。

〈用意するもの〉

① 視標：本ページ下の輪（ランドルト環と言います）を破線に従ってそれぞれ切り取り、20cm四方くらいの白い紙に貼ります（図１を参照）

② 眼帯：ガーゼまたはティッシュペーパーを5cmくらいの大きさに折って、絆創膏かテープで、のぞかれないようにしっかりと貼ってください。

③ 距離を測るためのものさし・メジャーなど

〈検査方法〉

1．楽に本が読める程度の明るい部屋で行います。

2．まず、練習をします。（無理強いをしないで行ってください）

① １mくらい離れて、練習用の大きい輪を見せます。両目を開けて行います。

② 切れ目の方向を指か手で示して答えさせます。または、図２のような輪を厚紙で作ってお子さんに持たせ、輪の切れ目の向きを合わせる方法でも良いでしょう。

③ 切れ目の方向は上・下・右・左の四方向とします。視標の向きを変える時は、必ず、一度指標を隠してから変えてください。

④ １mくらいでできたら、2.5m（できるだけ正確に）離れて行ってください。

⑤ 両目を開けて、切れ目の方向を正しく答えられましたか。

⑥ 片目を隠す練習です。右目、左目をそれぞれ隠して答えさせてください。

3．検査をします。

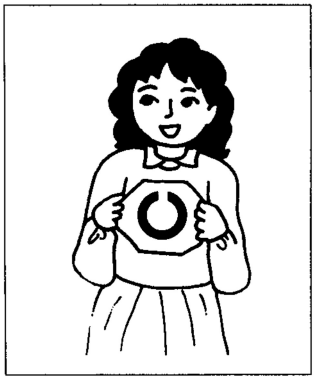
① 検査用の小さい視標を使い、2.5mの距離で行ってください。

② 両目で検査します。上下左右の四方向を見せて、三方向以上で正解したら見えたとします。

③ 次に、左目を隠して右目の検査をします。見えにくそうだったり、嫌がったりするときは左目から検査してください。上・下・左・右それぞれの結果を記入してください。

⑦ 続いて、隠す目を変えて、左（または右）の目を検査します。

図１　視標の見せ方

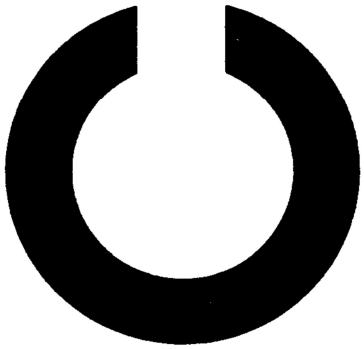


練　習　用

図２　切れ目の答え方

検　査　用

キリトリ線



練　習　用

検　査　用

聴覚検査

次ページの絵カードを使って、ご自宅で実施してください。

【検査方法】

① 絵を子どもの方向に向けて置き、１ｍくらい離れ、向かい合って座ります。

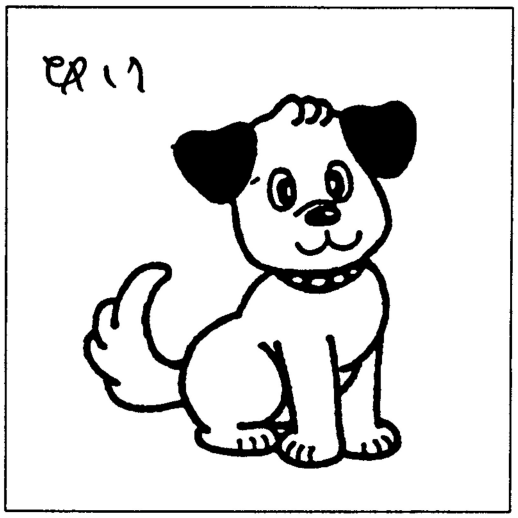
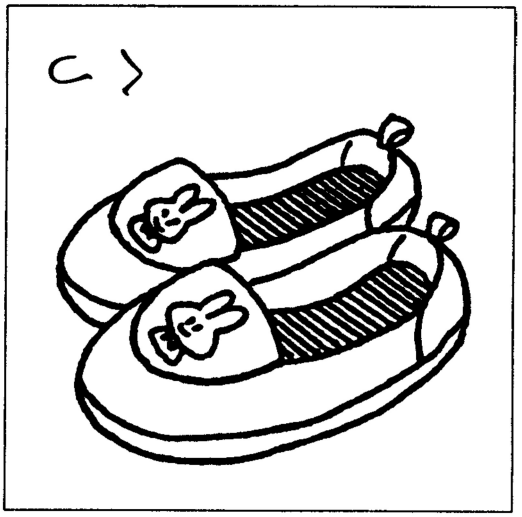
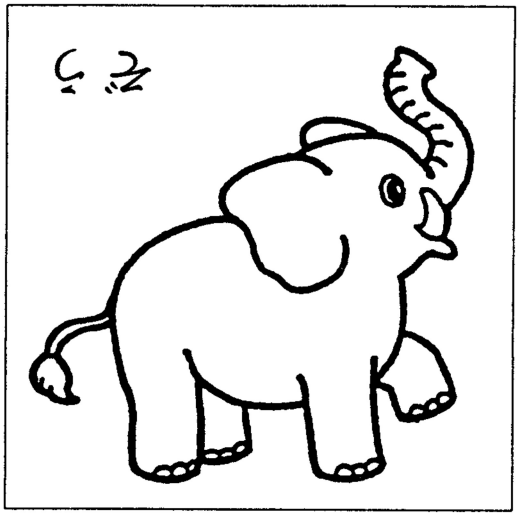
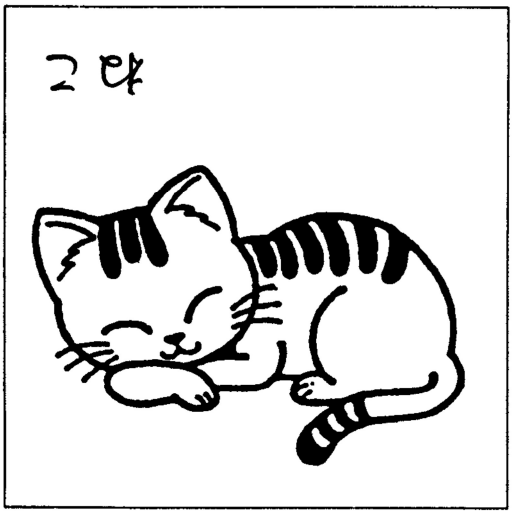
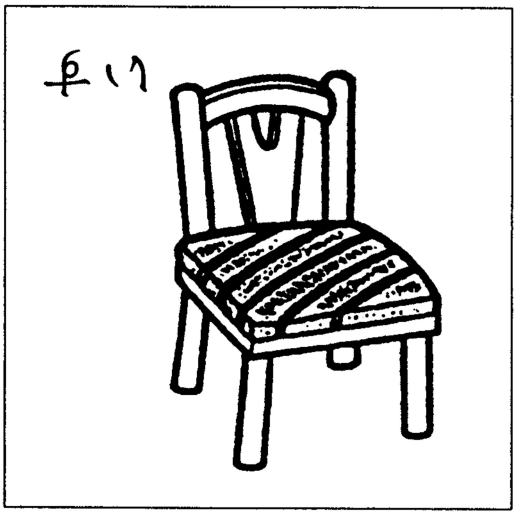
② 「この絵の中の名前を言うから、ぴったりの絵を指してね」と子どもに言い、普通の声（会話をする時の声）で、絵シートの表示した絵の名前をいい、子どもが６個の絵をすべて正しくさせるようにします。

③ 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて指してね」と子どもに言い、口元を見せないように手で隠し、６個の絵の名前を、ささやき声で１回ずつ言い、正しく指せれば２１ページの表に○、正しく指せなければ×、わからなければ△を記入します。

【検査の注意事項】

絵の名前を言うのは１回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。
また、ささやき声が大きくならないように注意してください。

＊ ささやき声

息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声は、のど（のどぼとけ）に手を当てたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。この状態が「ささやき声」です。

絵　シ　ー　ト